

議会だより

令和3年
第4回定例会

Matsushige Assembly News



長原小学校 STEAM 教育

夏



冬



冬

主な内容

- 町政に対する一般質問 2
- 令和3年度松茂町総合防災訓練 4
- 常任委員会委員長レポート 5
- 予算決算特別委員会報告 8
- 全員協議会報告 11
- 松茂町議会と松茂中学生との会議 12
- 編集後記 12



ここが知りたい!

町政に対する一般質問

本年4回目の定例会が12月2日から12月16日にかけて開催されました。2日目に当たる6日には一般質問が行われました。

今回は、死後の手続き「おくやみコーナー」の開設、地域コミュニティバスなど町民が利用しやすい方法について熱意ある質疑応答がなされました。



議会会議録は
松茂町立図書館に
3月に配置します

板東絹代 議員



1 「おくやみコーナー」 の開設について

問

家族が亡くなったときに町役場で行うべき手続きは多岐にわたります。住民や職員の効率化を目的に「おくやみコーナー」を設置する自治体は、2020年度から急増しているようです。松茂町はおくやみガイドを作成していますが、主な手続きを確認できても「詳細については担当課へ問い合わせ」とあり、受付が各課に分かれています。遺族の時間が掛かる負担を軽減するためには各種手続きが1カ所で済ませられる「おくやみコーナー」開設の考えはありませんか。

答

松茂町では、平成30年から令和2年までの3年間平均で、年間151名の方々がお亡くなりにな

っております。死亡後のご遺族による手続きについては、受付が各課に分かれており、手間と時間を要しているというご意見がございます。

議員ご提案の死亡に伴う手続きを一カ所で行う「おくやみ手続きに特化した窓口」の設置につきましては、ご遺族の方々の手続き負担軽減を図るため、全国の自治体や徳島県内においても、運用を開始する市町村が増えてきております。

現在の本町における死亡に伴う手続きにつきましては、住民課において、火葬料の助成や、保険・年金等の所管する情報に基づきおひとりおひとりに応じた準備を整え、窓口にお越しになられたご遺族にはあらかじめ用意した必要書類に記載をしていただき、すみやかに手続きを進めております。

また、その間に、他の部署へ、死亡に伴う手続きの有無に関して連絡をおこない、手続きが必要な担当課を把握し、ご案内をしております。

松茂町では、保険、年金、税、介護など、多くの方が手続きを必要とされる担当課が庁舎一階の近い位置に配置されており、手続きに伴う移動のご負担は少なく、各課において、それぞれの手続きの分野に精通した職員が、各々のご事情やご不明な点をお聞きし、丁寧かつわかりやすい説明をおこなうよう努めております。

また、状況に応じて、それぞれの担当部署の職員が住民課窓口へ移動して

手続きを進めるなどの対応をとっておりますので、現状においては、他自治体が行っている「おくやみ窓口」と同等のサービスが提供できているのではないかと考えております。

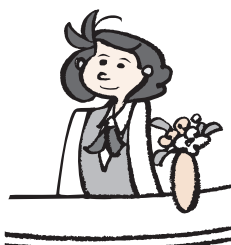
死亡後の手続きをワンストップで行うおくやみ窓口の設置については、他のご用件で役場窓口を訪れる皆さまの待ち時間への配慮を含めた設置場所の確保や、手続きの各制度に精通した職員の育成、一カ所で滞りなく手続きを行うために、現在、各課ごとに管理している業務システムの運用の方法など、課題が多くございますため、現時点では難しいものと考えております。

再問

町民目線のサービス向上を図るため、役場の諸手続きについて、DX等のデジタル技術を活用し、新しい行政サービス向上に取り組むお考えはありますか

答

先般9月の国においてデジタル庁が新設されました。オンライン手続き、デジタルトランスフォーメーションの技術につきましては、大いに関心を寄せております。ただ、議員が例に挙げた「役場の諸



手続”に關しましては、今、デジタル庁が全国の市町村の諸手続を標準化し、5年後を目処に統一の規格の元にデジタル運用し、サービスを開始する計画を進めている状況がございます。町としては、国との二重投資になる事態は避けたいと考えており、デジタル庁の取り組みに沿ってデジタル化、諸手続きのオンライン化を進めたいと判断しております。この点、ご理解いただきますようお願いいたします。

その一方で、町独自の判断により導入できるデジタル化は積極的に進めることとしており、一例を挙げますと、平成29年3月から住民票など各種証明書のコンビニ交付サービスを実施いたしております。また、来年の4月からスマートフォンを活用した公金収納や、キャッシュレス決済を実施することといたしております。その他、職員の労務管理などの分野につきましても、デジタル技術やAI、RPA等の活用を推進してまいります。

2 地域コミュニティ バスについて

問

町民の移動手段の確保をする為に地域コミュニティバスが導入されました。社会生活において生活の足の確保は重要です。松茂町の状況を確認してしっかりと町民の思いが

反映されているかどうかを検証しなければならぬと思います。

以下の点について伺います。

- (1) バス路線の追加又は見直しは考えていますか。利用されている病院などが路線ダイヤに入っていない。
- (2) 公共交通機関との乗り継ぎダイヤの時刻表作成は進んでいますか。徳島バスとの乗り継ぎ時間が短く乗り継ぎができない。
- (3) バス乗降場の目印をわかりやすくするお考えはありますか。
- (4) 車椅子やシルバーカーの方も利用できますか。
- (5) バスの利用者促進のお考えはありますか。例えば、乗り継ぎで徳島市、藍住町、北島町などのショッピングモールへお出かけができるダイヤなどお考えですか。

答

本町のコミュニティバス事業につきまして、「少子高齢化」が進む本町の将来を見据えて、いわば「地方創生」の取り組みの一つとして、本年5月1日から運行を開始したものです。

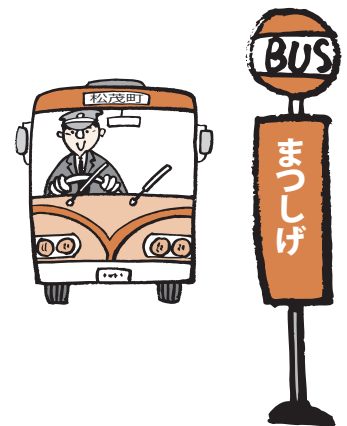
今、本町には、コミバス事業に繋がる4つの課題があると考えております。

第1の課題は、本町で急速に進行する「高齢化」、第2の課題は、公共交通として徳島バスのローカル路線の再編が必須、第3の課題は、交通ネットワークの更なる整備、第4の課題は、高齢ドライバーの「運転免許証返納」への

取り組み。

コミュニティバス事業は、こうした4つの課題に真つ正面から取り組み、本町を暮らしやすい町へと進化させる為に、必要な事業として計画を進め、本年5月1日から、従来の「福祉バス」を継承し、誰でも利用できる無料の乗り合いバスとして、平日・土曜日はバス3台体制で町内4路線を各6〜9便、日曜・祝日はバス1台で町内循環線を4便運行しております。

- (1) 「バス路線の追加、見直し」につきましては、先に言及した「地域コミュニティバス計画検討委員会」におきまして、ダイヤ等の改正の検討を進めているところでございます。来春には、バス停の増設を中心とした「ダイヤの小改正」を実施いたしますと共に、その先、令和4年秋には、徳島バスのダイヤ改正に合わせて「ダイヤの大改正」を実施する計画です。
- (2) 「公共交通機関との乗り継ぎダイヤ」につきましては、現行の時刻表のほか、利便性向上のためのチラシ



等にも「乗り継ぎ案内」を掲載しているところがございます。しかしながら、議員ご指摘の点、乗り継ぎバス停が離れており、高齢者にとって「移動の時間が十分でない点」につきまして、私どもも苦慮しております。本町のコミバスは、法律上の規制により、徳島バスの停留所へ乗り入れることができません。バス停を別に設ける必要があることから、利用者の乗り換えが不便になっております。ダイヤ改正による改善の可能性を検討すると共に、県や町村会などを通じて、国へも規制緩和を提言したいと考えております。

(3) 「バス乗降場の目印」につきまして、現在取り組みを進めており、バス停等の標識、時刻表の掲出を行うため、地権者等と交渉中でございます。

(4) 「車椅子とシルバーカー」の利用でございしますが、まず車椅子につきましては、平日ダイヤで運行中の3台のバスの内、2台は対応できております。旧式の1台につきましては未対応のため、今後、更新のタイミングで車椅子対応車両へ入れ替えたいと考えております。なお、現時点で車椅子の方が利用される場合には、車椅子対応の車両を配車する等にて対応いたしますので、役場または運行事業者へご一報いただきたいと存じます。

日・祝日ダイヤのバス1台につき

ましては、常にドライバーと別に補助員が同乗しておりますので、人的対応をいたしたいと考えております。

また、「シルバーカー」と呼ばれる手押し車につきましては、もちろんコミバスの車内に持ち込みができません。バスのドライバーに確認いたしましたところ、今も毎日複数台の「シルバーカー」が持ち込まれております。

(5) 「利用者促進策として、大型ショッピングモールへの乗り継ぎ策」ですが、現在、町内を走る徳島バスの路線として、徳島空港から北島町の「フジグラン」を経由して、藍住町の「ゆめタウン」との間を走る路線がございます。平日は55往復、土日祝日は85往復運行されており、大型ショッピングモールへ直行するダイヤとなっております。本町のコミバスとは、早朝・夜間の便を除き、「とくとくターミナル」や「広島ランプ」等で乗り継ぎが可能となっております。

その他、町外のショッピングモールや主要ターミナルへの乗り継ぎの利便性向上策として、いわゆる「現役世代」の町民や、町外からの交流人口を念頭に、スマホ等から簡単に乗り継ぎ情報が取得できるGTFIS（バス情報フォーマットシステム）への登録を進めております。

今後とも町では、利用動向の調査や意見収集に努め、「地域コミュニティバス計画検討委員会」などにおいて利用促

進策の検討を重ねることにより、コミバスの主たる利用層である高齢者や子どもたちの利便性を高めると共に、町内外の主要ターミナルへの乗り継ぎの向上を図ってまいります。

再問 利用者がどのように移しているのか。平日、土曜日、日曜日の曜日別・4路線別月間乗車人数について伺います。

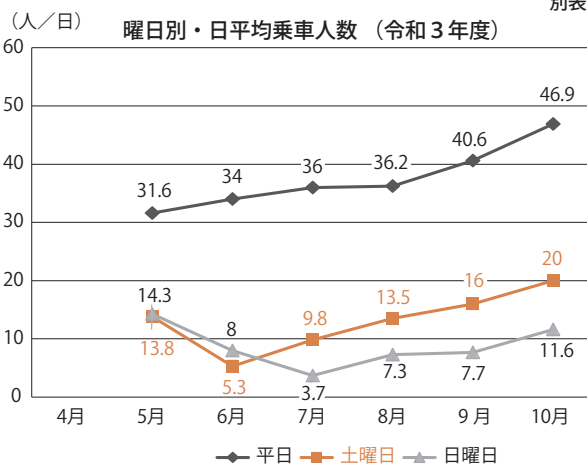
答 5月からの利用者の推移及び曜日別・路線別月間乗車人数については別表1・2のとおりで、増加傾向となっております。

再々問 4路線の中で、丸須・広島線、長原・東部線は他の路線に比べ利用者が多くなっていますが、分析していますか。

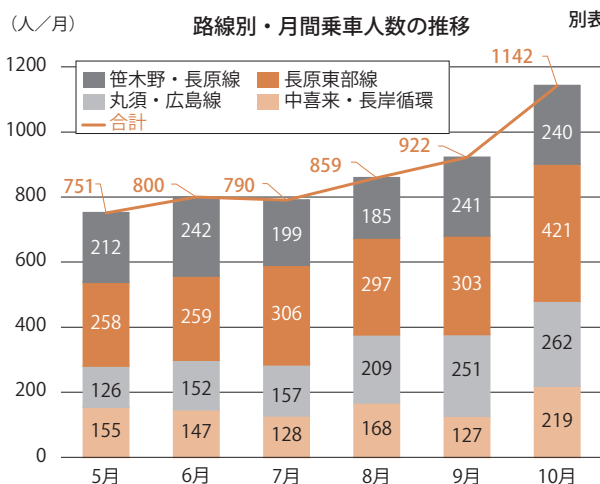
答 路線別利用数については別表2のとおりとなっております。

「丸須・広島線」「長原・東部線」の利用者数増加については、高齢者がお買い物の足として受け入れられた点が大いと考えています。次に「中喜来・長岸線」の課題としては先の理由の裏返しで買い物に不便な点が考えられます。今後、買い物に便利な仕方を説明したビラを作成し、周知を進める予定です。町としては、今後も利用動向を分析し、より便利なコミバスへと改善を進めてまいります。

別表1



別表2



令和3年度松茂町総合防災訓練

10月23日（土）松茂町総合防災訓練が交流拠点施設マツシゲート、保健相談センター、子育て支援センター、老人福祉センター（松鶴苑）で実施されました。これは、住民共助による地域防災力の向上を図ることを目的に実施したものであります。町議会からも訓練に参加し、地域の皆さんと共に避難所開設などを学びました。



常任委員会 委員長レポート

第4回定例会の議決の結果、承認第3号、議案第40号～46号の7件については、原案どおり可決しております。

委員会付託案件以外で審査し、可決した内容

議案第40号 令和3年度松茂町一般会計補正予算（第5号）

議案第41号 モーターボート競走の施行について

総務常任委員会付託議案

承認第3号 専決処分の承認を求めることについて

専決第12号 令和3年度松茂町一般会計補正予算（第4号）（所管分）

議案第43号 令和3年度松茂町一般会計補正予算（第6号）（所管分）

産業建設常任委員会付託議案

承認第3号 専決処分の承認を求めることについて

専決第12号 令和3年度松茂町一般会計補正予算（第4号）（所管分）

議案第43号 令和3年度松茂町一般会計補正予算（第6号）（所管分）

議案第46号 令和3年度松茂町水道特別会計補正予算（第1号）

教育民生常任委員会付託議案

承認第3号 専決処分の承認を求めることについて

専決第12号 令和3年度松茂町一般会計補正予算（第4号）（所管分）

議案第42号 松茂町国民健康保険条例の一部を改正する条例

議案第43号 令和3年度松茂町一般会計補正予算（第6号）（所管分）

議案第44号 令和3年度松茂町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）

議案第45号 令和3年度松茂町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）

総務 常任委員会

総務常任委員長 佐藤 道昭

付託された専決1件と議案1件は、
原案のとおり可決いたしました。

令和3年度松茂町

一般会計補正予算

(第4号) (所管分)

専決第12号「令和3年度松茂町一般会計補正予算(第4号)(所管分)」につきましては、既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1,011万2千円を追加し、補正後の予算の総額を65億4,451万9千円とするものです。

歳入の主なものとしては、国庫補助金で、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金のうち、総務課所管分200万円を増額補正し、新型コロナウイルス感染症対策として事業者を支援するものです。

歳出の主なものとしては、新型コロナウイルス感染症対策用消耗品及び備品の購入で、併せて200万円増額補正するものです。

令和3年度松茂町

一般会計補正予算
(第6号) (所管分)

議案第43号「令和3年度松茂町一般会計補正予算(第6号)(所管分)」につき

ましては、既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ8,610万1千円を追加し、補正後の予算の総額を67億4,936万3千円とするものです。

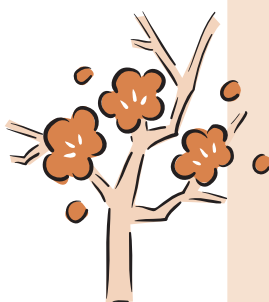
歳入の主なものとしては、特定防衛施設周辺整備調整交付金として379万4千円、普通交付税として1億7,461万7千円などを増額補正し、また、財源調整として財政調整基金繰入金で6,407万8千円を減額補正するものです。

歳出の主なものとしては、四月以降の人事異動等による人件費の調整を行うとともに、一般管理費で、ふるさと納税に伴う経費として、報償費100万円と役務費60万円、交流拠点施設管理費で、「マツシゲート活性化業務委託料」として300万円などを増額補正し、選挙費で、町長選挙費及び町議会議員補欠選挙費1,118万1千円を減額補正するものです。

主な質疑事項

Q 交流拠点施設管理費のマツシゲート活性化業務委託料はどのような内容の費用ですか。

A 経営目標の再設定の作業費で、収支計画策定、人材配置計画策定などの人件費が主なものとなっております。



産業建設 常任委員会

産業建設常任委員長 春藤 康雄

付託された専決1件と議案2件は、
原案のとおり可決いたしました。

令和3年度松茂町

一般会計補正予算

(第4号) (所管分)

専決第12号令和3年度松茂町一般会計補正予算(第4号)(所管分)」につきましては、歳入としましては、国庫補助金で、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金のうち、産業環境課所管分550万円を増額補正し、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けている事業者を支援するものです。

歳出としましては、商工費、委託料で地方創生臨時交付金(事業者支援)事業委託料550万円増額補正し、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている町内飲食店を対象に、6日間で4,000食のお弁当を発注し、それを買上げることににより事業者の経済的支援を行うものです。

主な質疑事項

Q お弁当ウィークは好評だったと思いますが、再度実施するお考えはありますか。

A 国からの支援金があれば考えますが、今のところ予定はありません。

令和3年度松茂町

一般会計補正予算

(第6号) (所管分)

議案第43号「令和3年度松茂町一般会計補正予算(第6号)(所管分)」につきましては、歳入の主なものとしましては、特定防衛施設周辺整備調整交付金のうち、建設課所管分120万7千円を増額補正し、滑走路西側外周道路の舗装工事を計画しております。また、県支出金、県補助金、県単土地改良事業補助金150万円の増額補正は、農業用排水路の補修などに対して、30%の補助を受けるものです。

歳出の主なものとしましては、土木事業費及び道路橋梁維持費で歳入で説明がありました県単土地改良事業補助金150万円、特定防衛施設周辺整備調整交付金120万7千円を充当するため財源内訳の変更を行うものです。

主な質疑事項

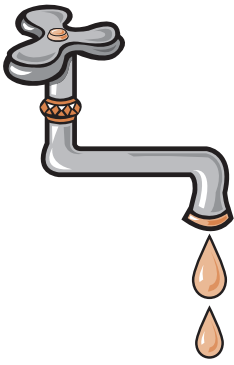
Q 大型車両が多い場所では、道路舗装が損傷して近隣に迷惑をかけているので、舗装方法の見直しはありますか。

A 今回、大型車にも対応できる舗装を考えております。



令和3年度松茂町 水道特別会計補正予算 (第1号)

議案第46号「令和3年度松茂町水道特別会計補正予算(第1号)」につきましては、水道事業費用の、営業費用で268万円を増額補正し、予備費で268万円を減額補正するものです。
主なものとして、長雨による原水の水質悪化に伴い、ポリ塩化アルミニウムの投入量が例年の倍近くなったことにより、薬品費として200万円の増額補正等によるものです。
建設改良費で15万円の増額補正は、4月の定期異動による人件費の増額によるものです。



教育民生 常任委員会

教育民生常任委員長 板東 絹代

付託された専決1件と議案4件は、原案のとおり可決いたしました。

令和3年度松茂町 一般会計補正予算 (第4号)(所管分)

専決第12号令和3年度松茂町一般会計補正予算(第4号)(所管分)につきましては、歳入の主なものとしたしましては、国庫補助金で、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金のうち、学校教育課所管分305万円を増額補正し、新型コロナウイルス感染症対策とするものです。

歳出の主なものとしたしましては、小学校費、中学校費、併せて305万円増額補正し、新型コロナウイルス感染症対策用消耗品を購入するものです。

松茂町国民健康保険条例 の一部を改正する条例

議案第42号「松茂町国民健康保険条例の一部を改正する条例」については、健康保険法施行令の一部改正により、

出産育児一時金の額が見直されたことに伴い改正を行うものです。

令和3年度松茂町 一般会計補正予算 (第6号)(所管分)

議案第43号「令和3年度松茂町一般会計補正予算(第6号)(所管分)」につきましては、歳入の主なものとしたしましては、民生費負担金の保育料で児童数の減少により、636万7千円減額補正し、児童手当国庫負担金及び県負担金合わせて872万9千円の減額は、実績見込みによるものです。また、新型コロナウイルスワクチン接種対策費国庫負担金で820万8千円の増額補正は、医師の接種費用に係る分で実績見込みによるものです。

歳出の主なものとしたしましては、児童福祉費で6,008万8千円の減額補正は、主に保育所等負担金で入所児童数の減少によるものです。そして、新型コロナウイルスワクチン接種費で1,223万7千円の増額補正は、3回目の追加接種に伴うものです。また、教育費の幼稚園管理費、工事請負費1,700万円の増額補正は、防衛省の調整交付金1,400万円を充当し、松茂・喜来幼稚園において老朽化した複合遊具施設を新たに設置するものです。

主な質疑事項

Q 保育所の利用者数が減少したと説明がありましたが、児童数が減少したからですか。

A 児童数自体も減少していますが、保育の無償化で、町外の保育施設等を利用される方がいることも要因の一つです。

令和3年度松茂町 国民健康保険特別会計 補正予算(第3号)

議案第44号「令和3年度松茂町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)」については、既定の歳入歳出予算の総額から、それぞれ82万1千円を減額し、補正後の予算の総額を15億9,153万5千円とするものです。
歳入の主なものとしたしましては、繰越金で44万9千円を増額補正し、一般会計繰入金127万円を減額補正するものです。

歳出の主なものとしたしましては、一般管理費(人件費等)416万9千円を減額補正し、賦課徴収費で制度改正に伴うシステム改修委託料247万円及び諸支出金、償還金87万8千円を増額補正するものです。

主な質疑事項

Q 賦課徴収費のシステム改修費は、国からの補助は無いのですか。

A 今後、国から補助がある予定です。

令和3年度松茂町
後期高齢者医療特別
会計補正予算（第2号）

議案第45号「令和3年度松茂町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）」につきまして、既定の歳入歳出予算の総額に、それぞれ128万円を追加し、補正後の予算の総額を1億9,574万3千円とするものです。

歳入といたしましては、後期高齢者医療保険料594万4千円を増額補正し、一般会計繰入金466万4千円を減額補正するものです。

歳出の主なものとしたしましては、後期高齢者医療広域連合納付金491万6千円を増額補正し、人件費の変更により、一般管理費363万6千円を減額補正するものです。



予算決算特別委員会

予算決算特別委員長 藤枝 善則

令和3年度事務事業評価を実施

令和3年度予算で、各常任委員会の主要事業（14事業）について、評価を行いました。評価結果として、拡充する（3事業）、現状のまま継続する（8事業）、一部修正し継続する（2事業）、休止（1事業）となりました。評価意見は、以下のとおりです。

総務部門

①交流拠点施設 Matsushigate（マッシゲート）活用事業 地方創生事業



委員会評価

① コロナ禍でのスタートで運営状況も厳しく、オープン6ヶ月で約700万円の赤字は危惧される。赤字はありますが、半面マルシェを中心とした趣向を凝らしたイベント開催には町内外からの集客も徐々に増えています。評価できることとされる。更なる飛躍の求められる施設で時代に沿った企画、運営が為されるよう求めます。						
☐	☐	☐	☐	☒	☐	☐
廃止	休止	終期設定し終了する	見直しを行い縮小する	一部修正し継続する	現状のまま継続する	拡充する



コミュニティバス

③ 避難経路確保対策 防災・減災対策事業

委員会評価

避難経路の確保、確保と共にその経路において倒壊等の危険性がある建造物等のチェックを定期的に行うと共に、組織的な対策を行い、町民が速やかに避難できるよう努める。						
☐	☐	☐	☐	☒	☐	☐
廃止	休止	終期設定し終了する	見直しを行い縮小する	一部修正し継続する	現状のまま継続する	拡充する



避難経路手摺り

委員会評価

② コミュニティバス事業 地方創生事業						
2次公共交通としての役割を高年齢者を中心とした町民に十分に浸透させる為、バス停、ダイヤ等の工夫を今以上に進め、安心、安全、便利な町民の足となるような事業として充実させる。						
☐	☐	☐	☐	☒	☐	☐
廃止	休止	終期設定し終了する	見直しを行い縮小する	一部修正し継続する	現状のまま継続する	拡充する

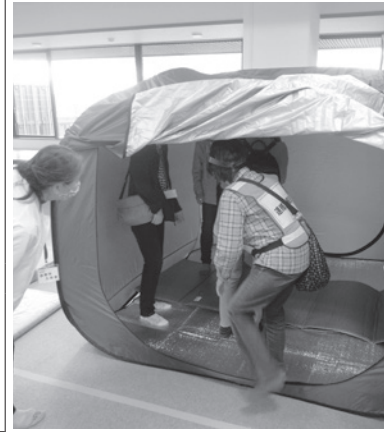
委員会評価						
⑤ 高潮ハザードマップ						
各種ハザードマップは、専門家等の気象状況の変化などに注視し、必要に応じて見直しを行うこと。住民の避難行動が安全に速やかに行えるよう見やすく、分かりやすいハザードマップの作成に努める。						
☐	☒	☐	☐	☐	☐	☐
廃止	休止	終了する	終期設定し	見直しを行い縮小する	継続する	一部修正し

防災・減災対策事業

委員会評価						
④ 自主防災対策等						
総合防災訓練の参加者は多いとは言えず、自主防災組織を含めた町民全体の防災意識が高揚するよう、各地区において避難、防災訓練の実施を求める。						
☐	☐	☐	☐	☐	☐	☒
廃止	休止	終了する	終期設定し	見直しを行い縮小する	継続する	一部修正し

防災減災対策事業

自主防災訓練



食品乾燥機

委員会評価						
① 6次産業化推進事業						
継続的に事業を進める。一部の専門的な人達ばかりでなく、町民全員に6次産業化推進事業内容を詳しく、分かりやすく広報し、数多く提出してもらえよう図る。また、開発商品だけでなく、開発商品だけでなく、販売・普及にも支援を含めること。						
☐	☐	☐	☐	☐	☒	☐
廃止	休止	終了する	終期設定し	見直しを行い縮小する	継続する	一部修正し

産業建設部門



給水タンク

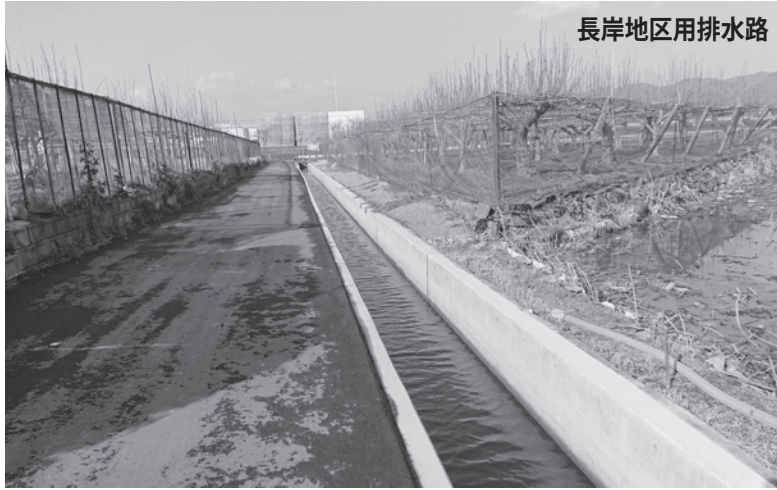
委員会評価						
② 被災時における給水対策						
災害は、何時発生するか分からないので、早急に近隣市町との共助による協定を進めること。また、主要幹線管路の耐震化については、計画的かつ安全に更新すること。						
☐	☐	☐	☐	☐	☐	☒
廃止	休止	終了する	終期設定し	見直しを行い縮小する	継続する	一部修正し

防災・減災対策事業



笹木野 51 号線 1 号橋

委員会評価						
③ 道路橋梁対策						
引き続き、点検を行い、速やかに改修等を実施すること。また、2m 未満の橋も自治会の協力をいただくなどにより把握し、必要な箇所の点検・改修計画も進めること。						
☐	☐	☐	☐	☐	☐	☒
廃止	休止	終了する	終期設定し	見直しを行い縮小する	継続する	一部修正し



長岸地区用排水路

委員会評価							④ 浸水対策（用排水路等工事）
用排水路も整備後、数十年が経過し、経年劣化・流水の悪い箇所を速やかに現状把握し、測量設計、改修工事の計画・施工を推進すること。							
☐	☐	☐	☐	☐	☒	☐	拡充する
廃止	休止	終了する	終期設定し	見直しを行い縮小する	一部修正し継続する	現状のまま継続する	



みんなのスポーツフェスタ

委員会評価							① 意識高揚施策（健康ポイント事業等）
医療費削減が課題となつて現在の現在において、町民をいかに健康づくりに誘引するかがテーマである。健康づくりの重要性は、認知していても具体的なアクションを行っていない人も多いため、健康ポイント事業は必要と考えられる。ポイントカードの押印、シールの改善をするなど意識し、参加人数を増やし、健康増進を図ること。							
☐	☐	☐	☐	☐	☒	☐	拡充する
廃止	休止	終了する	終期設定し	見直しを行い縮小する	一部修正し継続する	現状のまま継続する	

● 教育民生部門

委員会評価							② 新型コロナウイルス感染症対策事業（ワクチン接種事業）
新型コロナウイルスワクチンを3回接種することで新たなオミクロン株への予防効果が高まるとされるので早期実施に努めること。							
☐	☐	☐	☐	☐	☒	☐	拡充する
廃止	休止	終了する	終期設定し	見直しを行い縮小する	一部修正し継続する	現状のまま継続する	

委員会評価							③ 総合体育館を含むスポーツ事業
公の施設の開放と民間のノウハウを導入することは必要と考えられる。全町民を対象にスポーツイベントの開催に期待をしたい。また、スポーツ祭の開催時には、更なる参加者数の増加を目指すこと。							
☐	☐	☐	☐	☐	☒	☐	拡充する
廃止	休止	終了する	終期設定し	見直しを行い縮小する	一部修正し継続する	現状のまま継続する	

65歳以上の方へ

2021年12月17日

追加（3回目）接種に使用するワクチンについてのお知らせ

武田/モデルナ社のワクチンも3回目の接種に使用できるようになりました

◎接種の対象 2回目のワクチン接種を終了した18歳以上の方

◎使用するワクチン
1・2回目に接種したワクチンの種類に関わらず、ファイザー社または武田/モデルナ社のワクチンを使用します。ファイザー社は1・2回目の接種量と同量ですが、武田/モデルナ社は半量になります。

◎3回目の接種の安全性と効果

発現割合	ファイザー社（2回目→3回目接種後の症状）	武田/モデルナ社（2回目→3回目接種後の症状）
50%以上	疼痛（78.3→83.0%）、疲労（59.4→63.7%）	疼痛（88.3→83.8%）、疲労（65.4→58.7%）、頭痛（58.8→55.1%）
10 - 50%	頭痛（54.0→48.4%）、筋肉痛（39.3→39.1%）、悪寒（37.8→29.1%）、関節痛（23.8→25.3%）	筋肉痛（58.1→49.1%）、関節痛（42.9→41.3%）、悪寒（44.3→35.3%）、リンパ節症（14.2→20.4%）
1 - 10%	38度以上の発熱（16.4→8.7%）、腫脹（6.8→8.0%）、発赤（5.6→5.9%）、リンパ節症（※）（0.4→5.2%）	38度以上の発熱（15.5→6.6%）、腫脹・硬結（12.3→5.4%）、紅斑・発赤（8.7→4.8%）

（注）対象/人数：ファイザー2回目 18～55歳 2,682人、ファイザー3回目 18～55歳 2,682人、モデルナ2回目 18歳以上/14,691人、モデルナ3回目 18歳以上/1,671人
（注）2回目接種と比べた3回目接種後の発熱割合：5ポイント以上少ないもの、5ポイント以上多いもの
（注）武田/モデルナ社のワクチンは、1・2回目は100μg、3回目は50μg接種している。
（注）ファイザー社のワクチンのリンパ節症は、接種後1か月以内のデータを記載。 出典：特許承認に係る報告書より

◎3回目の接種をした人の方がしていない人よりも、新型コロナウイルスに感染する人や重症化する人が少ないと報告されています。

◎1・2回目と異なるワクチンを用いて3回目接種した場合の安全性と効果
英国では、2回目接種から12週以上経過した後に、様々なワクチンを用いて3回目接種を行った場合の研究が行われ、その結果が報告されています。

◎3回目の接種後7日以内の副反応は、1・2回目と同じワクチンを接種しても、異なるワクチンを接種しても安全性の面で許容されること

ワクチンの組み合わせ	抗体価
ファイザー → ファイザー → モデルナ	抗体価は上昇
ファイザー → ファイザー → ファイザー	

（注）武田/モデルナ社ワクチンは、3回目は50μg接種することになっているが、本研究では100μg接種した結果が報告されている。 出典：Munro APS, et al. The Lancet. December 2021

厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare

委員会評価							④ STEAM 教育事業
子どもたちの創造力を伸ばす観点から重要な事業と考えられる。幅広い学習を推進するためにも児童生徒の参加を増やすこと。							
☐	☐	☐	☐	☐	☒	☐	
廃止	休止	終了する	見直しを行い縮小する	一部修正し継続する	現状のまま継続する	拡充する	

松茂町スポーツ祭 2021



高齢者への防災関連チラシ

委員会評価							⑤ 普及活動、意識高揚施策 防災・減災対策事業
小さい時からの防災教育は、重要と考えられる。今後も継続して下さい。また、高齢者等に防災関連チラシ等の配布を考慮することが望ましい。							
☐	☐	☐	☐	☐	☒	☐	
廃止	休止	終了する	見直しを行い縮小する	一部修正し継続する	現状のまま継続する	拡充する	

全員協議会報告

令和3年12月2日に町議会議員、町長はじめ担当課職員出席のもと、町づくりに関わる重要事項について協議いたしましたので、主な内容を報告いたします。

徳島空港周辺整備事業 第二期計画について (徳島県)

来年度、松茂町と徳島県との間で締結された徳島空港周辺整備事業第二期計画の覚書改正案にあたり、これまでの経緯についての説明を徳島県より受けました。

内容としては、当初、円滑な事業推進を図るため、平成13年6月18日、松茂町と県の間におきまして覚書を締結いたしておられます。その際に協議していた未実施事業のうち、公共埠頭の整備については、企業ニーズのアンケート調査などの需要動向を調査研究し、総合流通施設の整備については、物流と公共投資の動向を調査し、検討すると覚書に明記します。

それ以外の未実施事業については、新型コロナウイルス、人口減少、災害列島の三つの国難に直面しておりまして、こうした課題への対応、また、健全財政を両立するためにはなお一層の努力が必要なる状況をふまえて、覚書の変更については、令和9年3月31日までの5年間延期をお

願いたいと説明がありました。

公金収納多様化事業について

令和4年4月より、町税や保険料などの納付方法に新しい選択肢が加わります。内容としては、これまでは役場や金融機関窓口で納付するか、口座振替によるものに限られていた納付方法に、コンビニエンスストア、クレジットカード、スマホアプリが加わり納付が便利になります。曜日、時間を問わないコンビニエンスストアでの納付、更には場所を選ばない、クレジットカード・スマホアプリによる納付。いつでも好きな時に納付できるようになりますと説明がありました。



松茂町議会と松茂中学生との会議

11月5日（金）松茂町役場議場で、松茂町議会議員と松茂中学生3年生8名とで、「松茂町議会と松茂中学生との会議」を開催いたしました。この会議は通信システムを活用し、松茂中学校3年生全員へライブ配信しておりました。

町議会の仕組みや役割、議会が自分たちの生活にどのように関わっているのか、将来の住民自治を担う生徒に町議会に対する親近感と興味を持ってもらうことを目的として、松茂町の将来、松茂町が良くなることをテーマに発表してもらいました。今回は、STEAM（スチーム）教育の一環として生徒たちが松茂町の課題の抽出・解決策の検討、町議会への提案を考え、プレゼンテーション方式で発表し、議員からは、アドバイス・講評を行い、松茂町発展のために意見を交わしました。

松茂町議会に対する提案発表

3年 A 組 がんばっ党 教育委員会

山田百合愛、山下大志

「松茂青少年自然の家の建設について」

3年 B 組 改新党 交通委員会

中山ななみ、大牟禮蒼天

「松茂町の交通・歩道・道路について」

3年 C 組 平和党 教育委員会

向井虹陽、田中まひる

「移動図書館バスの導入について」

3年 D 組 We can do i 党 観光委員会

桑田咲紀、赤壁太陽

「松茂町を観光地としてより魅力的にするために」



＝広報常任委員会＝

委員長	佐藤	富男
副委員長	立井	武雄
委員	佐藤	道昭
委員	板東	絹代
委員	川田	修
委員	村田	茂
委員	米田	利彦
委員	尾野	浩士

編集後記

表紙の写真は、長原小学校のSTEAM教育の授業です。「AI 時代」の新しい学びのSTEAM教育が令和3年5月より各校で開始されました。STEAM（スチーム）教育とは、科学（Science）技術（Technology）工学（Engineering）芸術等（Arts）数学（Mathematics）の5つの領域を対象とした教育です。知り、創ることに重点をおいた新しい教育で、児童一人一人がタブレット端末を活用して楽しく学びながら「AI 時代」を生きぬく知識を身につけています。

町民の皆さま！未来へ向かってがんばる子どもたちを応援していきましょう。これからも町民の皆さまには、今まで以上に町政全般に興味を持っていただけるよう「議会だより」の誌面作りに努めてまいります。（絹）

